

八重山地域における観光地型MaaS実証実験

(国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(観光地型))

<実証実験概要>

沖縄県八重山地区(石垣市・竹富町)にて、地域DMO、旅行会社、地銀、通信会社が一体となり複数交通モードの情報・オペレーション・交通サービスの連携性・利便性向上のためMaaSサイト・アプリとシステムを構築、公共交通分担率の向上と商業・観光施設等への送客を目指した観光地型MaaSを実現し、他型のMaaSへの将来展開が可能な基盤として有用性を検証する

○実験期間:2019年11月~2020年2月

○参画する事業者等

石垣市、竹富町、沖縄セルラーアグリ&マルシェ、
JTB沖縄、TIS、琉球銀行、八重山ビジターズビューロー

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段>

・バス、タクシー

(東運輸、カーリー観光、西表島交通、かびら観光交通、
石垣島交通、川良山交通、南西交通、あずまタクシー)

・離島船舶(八重山観光フェリー、安栄観光)

・レンタカー(西表島交通)

<提供するサービス>

経路検索、予約、決済

○特記事項

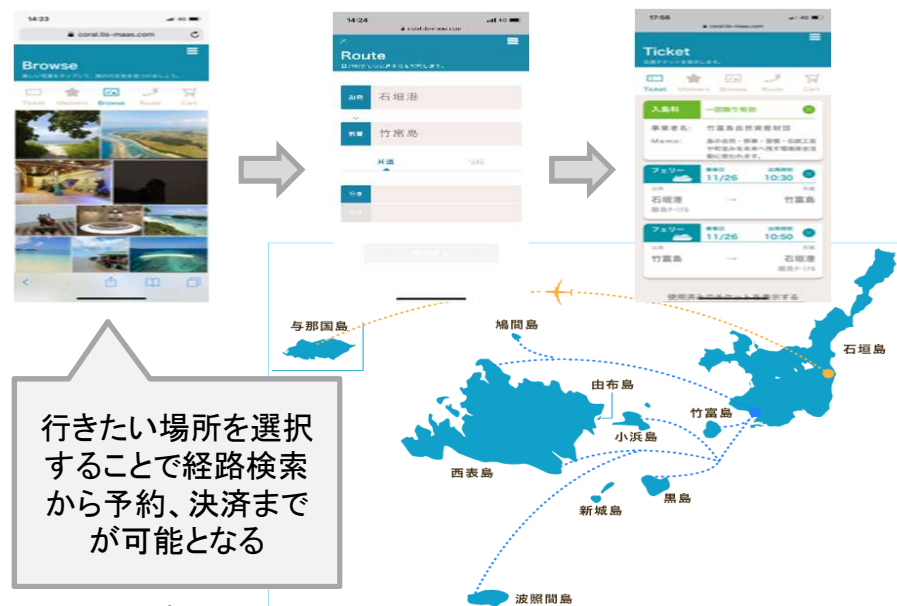
・沖縄最大級の観光情報アプリ「沖縄CLIP」上に、八重山
MaaSアプリを構築

・離島船舶、バス、観光タクシーのそれぞれの乗車券を電子
チケット化して対象の交通機関を一定期間乗り放題

・ICチップ・QRコードが一体搭載されたスマートプレートに、
利用者がスマートフォンをかざすことで乗降・サービス
利用を認証

※将来的にはアプリ全体も5カ国語対応(日、英、韓、繁体/
簡体)を目指す

<八重山MaaS利用イメージ>



<スマートプレートの利用イメージ>

「かざすだけ」の瞬間コミュニケーション

